

# 面 打

面打 ちほしそちまかほみねに  
Cモき' | むろこけUとI | ぬう凡 耳色  
アギツ子ホシリラヤフカJ | 三糸Aニ  
7モキ' | L口コケヒトヤ3ウ凡 凡 凡  
天地 星空 山川 峰谷 雲霧 室苔 人犬 上未  
安 宇在 於加 幾久 計己 任之 寸世 自太  
A B C D E F G H I J K L M N O a b c d e f g h i j  
k l m n o 1 2 3 4 5 6 7 8 9 , . ! ? \* & #

38Q / 50H

或るった冬の日暮である。私は横須賀  
私は横須賀上' 二等客  
車の隅に隠さ下して、ほ  
んやり寝車の窓を待って

22Q / 33H

或るった冬の日暮である。私は横須賀  
私は横須賀上' 二等客車の隅  
に隠さ下して、ほんやり寝車  
の窓を待っていた。とうとう  
燈のついた客車の中には、珍  
らしく私の外に一人も乗客は

16Q / 27H

或るった冬の日暮である。私は横須賀  
上' 二等客車の隅に隠さ下して、ほん  
やり寝車の窓を待っていた。とうとう  
燈のついた客車の中には、珍らしく私の外  
に一人も乗客はいなかった。外き覗くと、  
うす暗いワットワットにも、今日は  
珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、此

28Q / 38H

或るった冬の日暮である。私は横  
須賀上' 二等客車の隅に隠さ下  
して、ほんやり寝車の窓を待って

20Q / 30H

或るった冬の日暮である。私は横須賀上' 二  
等客車の隅に隠さ下して、ほんやり寝車  
の窓を待っていた。とうとう燈のついた客車  
の中には、珍らしく私の外に一人も乗客は  
い

16Q / 24H

或るった冬の日暮である。私は  
横須賀上' 二等客車の隅  
に隠さ下して、ほんやり寝車  
の窓を待っていた。とうとう  
燈のついた客車の中には、珍  
らしく私の外に一人も乗客は